

タウンミーティングで出された意見等に係る 前期基本計画への反映状況

初倉地区(実施日:平成29年9月29日)

対応状況・反映状況の凡例
 ◎…すでに前期基本計画に盛り込まれているもの
 ○…前期基本計画に反映したもの
 ×…前期基本計画には反映しないもの
 ……質問等により、特に前期基本計画に反映する必要がないもの

※色が塗られたものは、当日挙手制による意見交換を行ったものです。

No.	提案・意見内容	回答	対応状況 反映状況	備考(前期基本計画内反映箇所など)
1	現総合計画の達成度は何%くらいでしょうか。	現総合計画については、成果指標となる「めざそう値」を設定し、達成度を測っています。なお、平成28年度末までの達成状況については、市のホームページ上や市役所の情報公開コーナーにて公開しています。 平成28年度末の状況としましては、めざそう値100項目のうち、「達成したもの」「順調に推移しているもの」が6割程度であり、達成済みのものが全体の35%程度あります。 なかには達成が難しいもの、目標設定が高いものもありますが、計画期間の最終年度である平成29年度末まで、目標達成を目指した取組を進めていきます。	—	
2	人口を減らさない工夫より、減少しても良いまちづくりをすべきではないでしょうか。人口は絶対に増えないし、決まった人口を市町どおしで取り合ってもしょうがないと思う。	御指摘のとおりです。 人口減少という大きな課題がある中で、お金や人など、経営資源の減少にあわせて、既存事業の見直しによる真に必要な施策・事業の選択と集中が不可欠だと考えます。縮めながら充実させていく「縮充」という考え方により、人口減少に即したまちづくりを進めるべきと考えます。 しかし、何もしていないと、人口減少に歯止めがかからず、基礎自治体としての存続が危惧されるため、様々な施策により、人口減少社会に立ち向かっていきます。	—	
3	人口減少について、地域ごとの減少予想データはありますか。	今後、人口減少対策を何もしていかない場合、2060年には、旧市内37,000人強が24,830人、六合地区15,000強が13,203人、金谷地区19,000人強が10,194人、川根地区5,000人弱が1,413人、初倉地区12,900人が8,638人という予測となっています。 今後、様々の政策により、それぞれの地区を活性化させて、2060年に8万人を目指していきます。	—	
4	平成29年までの中で、成果と見直した点は何か。	第1次島田市総合計画後期基本計画における成果としては、平成28年度末までの成果ですが、100項目設定した評価指標「めざそう値」の状況として、「達成済み」「達成の見込み」は全体の約6割という進捗状況です。 計画期間中において、計画や指標の見直しを行う予定はありません。	—	
5	説明を聞いても良くわからないのですが、本当にやらなければならない事なら8年は長いのでは。4年くらいでどうか。やるべきことは決まって実行するのだから、なぜタウンミーティングを行うのか。	基本構想の計画期間は8年としていますが、基本計画については、前期4年・後期4年で構成しています。 基本計画では、8年の基本構想に基づき、各4年間で実施する施策を体系化し個々の施策を計画的に進めていくための具体的な指針を示しています。 なお、タウンミーティングの実施目的は、地区の課題や協働で取り組むべき事項について市民の皆様からの意見を計画に反映させるために実施しているものです。	—	

No.	提案・意見内容	回答	対応状況 反映状況	備考（前期基本計画内反映箇所など）
6	初倉地区のマスタープランについて教えてください。	平成21年度に策定した現行の島田市都市計画マスタープランについては、初倉地域の将来目標を「緑と街が調和する交流のまち」と設定し、地域づくりのすがたとして、(1)広域交通の結節点を活かしたまち(2)地区拠点の形成(3)住んでみたい快適居住のまち(4)安全で快適な道路や生活環境が整備されたまち(5)拠点をつなぐ歩行者ネットワークの形成、と定めています。 都市計画マスタープランについては、総合計画の見直しを踏まえて、メリハリのある都市構造の実現に向け、見直しを行います。	—	
7	第2次島田市総合計画の計画期間中における、島田市の財政収支（税収、借金等）について、計画の内容と絡めて説明をお願いします。	今後の経済情勢の動向や地方財政制度の改正を見据えた上で財政計画を策定するとともに、総合計画に登載される施策や事務事業の実施に要する事業費との調整を図ります。 財政計画については、例えば、市税は実績の推移や現下の経済情勢、固定資産税評価替え等の変動を見込み、また、総合計画に登載される投資的事業のうち、適償性の高いものについては起債（借金）により財源を確保するものです。	—	
8	人口減少に対する対策が具体的でないように感じます。何を重点的に取り組むつもりですか。そして、何が解決策となりますか。	人口減少に歯止めをかける様々な取組を進め、計画最終年度である8年後（平成37年）に92,200人の人口を目指すものです。 人口減少に対し、直接的な解決策があるのではなく、子育て支援、就労機会の確保などの施策により、子どもを生み育てられる環境づくりを進めます。また、移住・定住施策の充実により、島田に来てもらうことも人口減少対策のひとつと考えます。	—	
9	これからのまちづくりに必要な視点の中で、人を育てるとはどのようなことですか。	協働のまちづくりを推進するため、市民が主体的に取り組む事業で公益性を有するものに対して交付金を交付する「まちづくり支援事業交付金」の制度を拡充したほか、まちづくりを牽引する人材を育成するための「ファシリテーター育成養成講座」を開催したほか「ゆめ・みらい百人会議」の各分科会活動を支援しています。	◎	施策の柱7-1-1 ・市民協働のまちづくりを推進するため、研修会を開催し、ファシリテーション能力の習得により協働のまちづくりを担う人材を育成します。 ・まちづくり支援事業交付金により、団体が主体的に取り組む、公益性を有する事業を支援します。
10	広域行政、市町村連携の考え方の中に、防災面（地震、自然災害時）での対応は入っているのでしょうか。具体的に初倉地区でいえば、隣接の吉田町との緊急時防災対応ですが。	吉田町との連携については、消防の広域化を含め、防災面での広域連携の形ができています。初倉消防署は榛南地域に向けて発進する大きな拠点となっており、広域化前と比較し出動回数が倍に増えています。 初倉地区は津波の被害はありませんが、初倉地区の第2次避難所、第3次避難所では、吉田町や焼津市からの広域避難者を受け入れていく必要があります。	◎	施策の柱1-1-4 （冒頭部）広域消防救急体制のスケールメリットを最大限に活かして、火災・事故・災害の初動において市民の生命・財産を確実に守る体制を維持します。 また、自衛隊、消防、警察、DMAT等の広域応援部隊はもとより、指定地方公共機関たる事業所、災害応援協定締結自治体や各種事業所、ボランティア活動を担う民間団体等との連携体制を充実強化します。

No.	提案・意見内容	回答	対応状況 反映状況	備考（前期基本計画内反映箇所など）
11	茶業が暗い将来しか見えません。防災の観点から、牧之原の高台（畑）を町にすることはできないでしょうか。色々な規制で、農地を住居にはなかなかできないけれど、災害が危惧される近年の状況から何かできないでしょうか。併せて、空港周辺を防災拠点として活用してください。	国土交通省が1,000年に1度の大雨が降った際の大井川のハザードマップを公開しました。そのハザードマップでは、島田市の市街地全域が浸水すると予想され、そういった場合には、高台は避難場所として活用できると考えます。なお、国土利用計画では、牧之原台地の土地利用について、農用地を適切に保全していく地区と位置付けていますので、今後の検討とさせていただきます。空港周辺については、災害時において、既に自衛隊の後方支援拠点になっており、補給部隊が入ってくることや、オフサイトセンター前が自衛隊のヘリ基地となることなど、防災拠点として位置付けがされています。	×	
12	「安全ですこやかに暮らせるまちづくり」の中で、地域医療の充実の施策は何かありますか。	新市立島田市民病院建設と合わせて、各医療機関の強化、救急医療体制・災害医療体制の整備、在宅医療の体制整備、国民健康保険事業の安定運営等により、地域医療の充実と確保を図ります。	◎	施策の柱1-2-4（冒頭部） 新市立島田市民病院建設と合わせて、地域医療連携の強化、救急医療体制・災害医療体制の整備、在宅医療の体制整備、国民健康保険事業の安定運営等により、地域医療の充実と確保を図ります。
13	新市民病院の建設で何%の島田市民の利用が増加するのか。診療科の減少はないのか。	新市民病院は、①患者にやさしい病院、②利便性が向上した病院を整備方針の中に掲げています。より多くの市民、患者さんが利用しやすい施設となるよう、ユニバーサルデザインの考え方を導入していくとともに、十分な駐車場スペースも確保していきます。診療科数については、現在と同じ33科とし、診療体制を維持していく計画です。また、平成27年度実績では、外来患者のうちの74.7%、入院患者のうちの72.7%が島田市民となっています。新病院は、「地域医療に貢献する」という理念のもと、志太療原医療圏における中核医療機関として、市民も含め周辺自治体の皆さんからも愛され、信頼される病院として、これまで以上に利用されることを目指していきます。	—	
14	子育て教育環境の改善を行うが、島田市の高齢化する老人のケアはどうするのか。人口減少による子供重視の考えではないのか。	一人ひとりの自立した生活と健康寿命の延伸のため、介護予防事業や生きがいづくり事業に積極的に取り組むとともに、安心な暮らしのため、地域における支え合いのしくみづくりや関係機関との連携による包括的かつ適正なサービスの提供を促進していきます。	◎	施策の柱1-3「生涯を通じて誰もが生きがいをもち安心して暮らす（高齢者・介護）」の中で具体的な取組を示しています。
15	ICTとはなんですか。	Information and Communication Technologyの略語で「情報通信技術」のことです。ITと同義語です。なお、専門用語等の注釈を記載するなど、読み手に配慮した計画策定を進めていきます。	—	◆わかりにくい言葉には注釈をいれます。
16	学校教育と地域の連携を具体的にどのように進めるのか。	学校だけでなく、地域・家庭と一体となり、地域の教育力の向上を図るため、学校支援地域本部事業を実施していきます。また、地域の方の御協力のもと、子どもの学習習慣の意識付けを行う寺子屋事業や放課後の居場所づくりにつながる放課後子ども教室を推進します。	◎	施策の柱2-2-1 ・学校だけでなく、地域・家庭と一体となり、地域の教育力の向上を図るため、学校支援地域本部事業を行います。 ・「放課後子ども総合プラン」に基づき、子どもの居場所づくりを推進し、地域の方の協力のもと、様々な体験活動を通じ子供を育む放課後子ども教室を実施します。

No.	提案・意見内容	回答	対応状況 反映状況	備考（前期基本計画内反映箇所など）
17	地域コミュニティの拠点づくりとしての学校施設の活用をどう考えているのか。	学校施設、特に小学校は、自治会やコミュニティの中心に位置づけられ、防災機能を担うほか、お祭り、イベントが開催されるなど地域住民の心の拠りどころになっています。 一方、少子化が進み、児童数の減少でクラス替えができないなど、あるべき教育活動が困難な状況が散見されます。 こうした状況を踏まえ、現在、市教育委員会では教育環境適正化検討委員会を有識者、現場の教師、地域住民及び、幼稚園、小中学校の保護者の代表で組織し、地域における学校のあり方について検討を進めているところです。	◎	施策の柱2-2-3 ・「島田市教育環境適正化検討委員会」を開催し、適正な教育環境を実現するための具体的な方策を検討していきます。
18	子どもを生み育てる環境について、子育て支援は大切ですが、不妊治療の補助、無償化は考えているのか。	不妊治療や不育症治療等に要する経費の一部を助成する制度を設けて、経済的負担を軽減しています。 なお、完全無償化する制度拡充については、現在のところ予定していません。	×	施策の柱2-1-1 ・ <u>不妊治療や不育症治療等に要する経費の一部を助成し</u> 、経済的負担を軽減します。
19	蓬萊橋右岸の整備はどのように進めますか。 蓬萊橋の初倉側（右岸側）の整備計画を教えてください。	蓬萊橋周辺の整備について、右岸側の整備時期はまだ決まっていません。現在、左岸側のお休み処、物産販売所、番小屋、トイレ整備、蓬萊橋ライトアップ等の整備を進めており、来年度以降、一段下のところに、駐車場や花壇、散策路、イベント広場を設置する計画です。 その整備が完了後、大井川の右岸側の整備を進めていきたいと考えています。整備内容については、今後大井川ミズベリング協議会の中で検討していきます。	◎	施策の柱5-1-1 ・蓬萊橋周辺の施設や道水路整備とともに、右岸側の利活用についても検討を進めます。
20	高齢化が進み、現在は耕作をお願いしている状況ですが、青地→白地になることは無理でしょうか。今後、次の世代に渡していくのに悩んでいます。併せて、被災地の方々の移住も考えて欲しいです。	一般的には、ほ場整備等で農業投資された農地については、法の規定により白地への転換は難しくなっています。個別の事由等の詳細については、市役所に御相談ください。 被災地の方々の移住につきましては、問い合わせがあれば真摯に対応していきます。	×	
21	平均寿命が延び、65歳以上の高齢者でも働く時代になりました。高齢者の労働対策はありますか。	シルバー人材センターへの支援により、高齢者が豊かな経験と能力を発揮できる就労の場を提供していきます。 また、高い技術や創造力のある高齢者が起業を考えている場合は、島田市産業支援センター「おびサポ」で支援させていただきます。	◎	施策の柱3-1-1 ・島田市産業支援センターが、中小企業の課題解決の場、起業希望者への支援の場、さらには異業種との交流の場として定着し認知されるよう、相談体制の一層の充実と事業者・起業希望者のニーズに合ったセミナー、交流会の企画・開催に努めます。 ・高齢者が豊かな経験と能力を発揮できるよう、就労の場を提供するシルバー人材センターを支援します。
22	これからのまちづくりに必要な視点より、「人と人、人と地域のつながりを大切にする」とありますが、地域の絆を高めるための具体的施策はどのように考えていますか。	多様化する地域の課題に対して、主体的に取り組んでいる各コミュニティ委員会に対し、人材育成や意識啓発などの活動を支援します。	◎	施策の柱7-1-2 ・多様化する地域の課題に対して、人材育成や意識啓発、主体的に課題への取組を行う各コミュニティ委員会の活動を支援し、健全な育成を図ります。
23	初倉地区における土地利用において、幹線道路沿いの農地にかかる対応は急務と考えます。一律的な土地利用規制をやめ、有効かつ、有機的な土地利用を導入すると考えていいのでしょうか。	今年度策定する国土利用計画島田市計画における土地利用構想図で、目指す商工業地（宅地）の区域を示させていただいていますが、農地から宅地への転換にあたっては、農業的な制約等がありますので、地域の皆様との協力のもと進めていきたいと考えています。	◎	国土利用計画「地域別計画」 ⑥初倉地区 ・幹線道路沿いの農地について、自然的土地利用から都市的土地利用への転換を望む声が多いことから、無秩序な転換を排除した上で、関係住民の理解や環境の保全等慎重な配慮の下、住宅や商業施設、福祉施設等の誘導に資する計画的かつ適正な土地利用を検討していきます。

No.	提案・意見内容	回答	対応状況 反映状況	備考（前期基本計画内反映箇所など）
24	空港周辺プロジェクトの県の計画と市の計画の整合性について教えてください。	県と市が連携して、大茶園に囲まれた地域特性を活かす交流人口の拡大と賑わい創出に資する施設整備を目指しています。 その主旨は、県が所管する「ふじのくに茶の都づくり構想」「空港ティーガーデンシティ構想」に掲載されているほか、市が所管する現総合計画、現国土利用計画にも取り組む方向性が記載されており、もちろん次期総合計画においても同様の取扱をしていきます。	◎	施策の柱6-3-3（冒頭部） にぎわいと交流人口の拡大を目的に、県が運営するふじのくに茶の都ミュージアムや、民間事業者を整備主体とする旧金谷中学校跡地周辺の利活用を県と連携して進めます。 国土利用計画地域類型別土地利用「にぎわい創出ゾーン」 旧金谷中学校跡地周辺一帯については、空港近隣地域の特性を活かしたにぎわいを創出する商業施設などの立地を誘導し、県が整備する「ふじのくに茶の都ミュージアム」や既存観光施設等との連携を図りながら、商業・観光・交流機能の充実を図ります。
25	国土利用計画の基本的な考え方の中に「うるおいある土地利用」とありますが、他の基本的な考え方とくらべわかりにくい。どの様な考えを表現しているのか。	ここに住む人の生活にうるおいを与える、大井川の恵みを受け、みどり豊かな自然環境を大切にしていくという意図をこめたものです。	—	
26	朝と夕方、特に夕方の金谷地区の交通渋滞がひどい中、新東名島田金谷IC周辺地区に「賑わい交流拠点」をつくっても、旧島田地区からは行きにくいと思いますが、いかがお考えでしょうか。	施設利用者により周辺の交通混雑が予想されることから、入退場経路については、安全かつ合理的な誘導方法を検討するとともに、狭小(きょうしょう)区間については拡幅改良を計画していきます。 また、島田側からのアクセス向上に資する、市が施行する横岡新田牛尾線、二軒家牛尾線及び国・県が施行する国道1号や国道473号の4車線化整備を推進していきます。	◎	施策の柱6-2-2 ・新東名高速道路や国道473号などの広域幹線道路への連絡機能を強化する幹線道路を整備します。
27	ラウンドアバウト予定地の東側の道路について、全徳連の土地についてどうなっているのか。	ラウンドアバウト整備については、昨年度基本設計まで行いました。今後は平成32年度を目途として、工事を実施したいと考えています。 ラウンドアバウトをつくるためには、東西、南北の道路ができる必要があるため、地元の御協力をいただき、実現に向けて取り組んでいます。	◎	施策の柱6-2-1 ・日常生活から通過交通を排除し、安全・安心を確保する幹線道路整備を進めます。
28	富士山静岡空港に隣接する地区の調和ある発展を図ることとは具体的にどういったことか。整備事業のなかには下水の整備も含まれるのか。	市道や河川道の生活基盤の整備のほか、農道、農業用排水路等の農業振興対策事業を実施し、湯日、阪本、船木地区が空港隣接地域として豊かな自然環境と生活環境、さらに農業、都市的土地利用が調和したエリアとなることです。 御指摘の下水道整備については、計画には含まれていません。	—	
29	素晴らしい総合計画で、10年後実現できたらさぞかし住み良い島田市になるでしょう。	10年後のみならず、今ここに暮らす子どもたちが、20年後、30年後に安全・安心で快適な生活を送ることができるよう、取組を進めていきたいと考えています。 計画の実現と住みよい島田市となるために、地域の皆様の御協力をよろしくお願いいたします。	—	
30	きれいごとが多すぎると思うが、縮充の考え方は大変良いと思うので、ぜひ進めてもらいたい。	人口減少社会の中での行政運営に必要な考え方として捉えており、この考え方に基づき事業を進めていきます。	—	
31	押さえるべき課題として、AIの進展を加えるべきである。AIの進展により2030年までに240万人の雇用が失われると云う学者がいます。島田市もその影響を受けるはずであり、産業構造の変化も見込まれます。人口減少をAIの発展で補うという発想もあります。AIにまかせるもの、AIにはできないもの、その両視点から考えていくことが必要です。	人口減少による人手不足や生産性の伸び悩みを補うものとして、ICT（情報通信技術）の導入を促進し、IoT（モノのインターネット）、AI（人工知能）といった先端技術の研究や実証実験が進められていると認識しています。 そうした先端技術を扱える人材を育て、市内産業の活性化を図っていくことが重要であると考えています。	◎	施策の柱3-1-3 ・人手不足や生産性の伸び悩みを補うICT導入を促進し、IoT（モノのインターネット）、AI（人工知能）といった先端技術の研究や実証実験を行い、市内産業の活性化を推進していきます。

No.	提案・意見内容	回答	対応状況 反映状況	備考（前期基本計画内反映箇所など）
32	説明の内容はわかりやすく、明確なものであったと思います。しかし、本日の参加者を見ると、50～60代の方が多くみえており、パンデミック＝感染症や、デマンド＝わがままな、など、意味の理解が難しいかと思いました。大変かとは思いますが、さらに話を噛み砕いていく必要があると感じました。	専門用語等には、注釈を付すなど、読み手に配慮した計画策定を進めていきます。	—	
33	最近異常気象で大災害が各地で起きています。水害など、絶対ない牧之原台地の土地を利用して安心して暮らせるようになるというです。簡単にはできないのも承知ですが。	国土交通省が1,000年に1度の大雨が降った際の大井川のハザードマップを公開しました。そのハザードマップでは、島田市の市街地全域が浸水すると予想され、そういった場合には、高台は避難場所として活用できると考えます。なお、国土利用計画では、牧之原台地の土地利用について、農用地を適切に保全していく地区と位置付けていますので、今後の検討とさせていただきます。空港周辺については、災害時において、既に自衛隊の後方支援拠点になっており、補給部隊が入ってくることや、オフサイトセンター前が自衛隊のヘリ基地となることなど、防災拠点として位置付けがされています。	×	
34	市民病院は高度医療を近隣市立病院と分担して、医師の集まる、集まりやすい形態とすべきだと思います。	御指摘の点については、今後の医療の確保・継続性を考えていくうえで目指すべき方向であると考えています。経営形態は、経営・人事の機動性向上のため、平成23年4月1日に公営企業法の一部適用から全部適用に移行し、一定の成果をあげています。今後は、平成32年度に開院を目指す新病院建設事業を着実に進め、医師の集まりやすい病院運営（救急医療体制の継続・確保、手術支援ロボット導入による外科的治療体制の充実、臨床研修プログラムによる医師確保への取組など）を推進していきます。	◎	<p>施策の柱1-2-4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地域医療基本条例」に基づき、安定した地域医療体制の構築に向け、市民・関係機関・行政がそれぞれの役割を果たしやすい環境整備に努めます。 ・静岡県地域医療構想の中で示された志太榛原地域医療構想に基づき、圏域市町・医療機関が連携を深め、圏域全体での救急医療体制の確保に努めます。
35	初倉地区の開業医、専門医の誘致をお願いしたい。	<p>県中部地域、特に島田市を含む志太榛原圏域は、医療施設に従事する医師数が少ない現状にあり、県の医療対策協議会等において対応等が協議され、徐々にではありますが改善しつつあります。</p> <p>医療を取り巻く状況は、高齢化の進展や医療の高度化などに伴う国民医療費の増大や医療・介護等の人材確保など、さまざまな課題を抱えています。そうした中、国は、これまでの病院完結型から地域完結型の医療体制に転換していくという方針を示しています。</p> <p>このため、市では、地元医師会や関係機関等と対応を協議し、24時間体制の訪問看護ステーションの開設、在宅医療の推進、医療と介護の連携の強化など、地域の限られた医療資源を有効に活用した体制づくりに取り組んでいます。</p> <p>市民の皆様には、こうした状況をご理解いただけますとともに、自らの健康に対する意識を高め、生活習慣の改善や健診受診など、健康づくりに向けた行動を起こし、健康長寿を目指していただくようお願いいたします。</p>	○	<p>施策の柱1-2-4（冒頭部）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新市立島田市民病院建設と合わせて、地域医療連携の強化、救急医療体制・災害医療体制の整備、在宅医療の体制整備、国民健康保険事業の安定運営等により、地域医療の充実と確保を図ります。 <p>施策の柱1-2-4（追加）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・24時間365日対応可能な訪問看護ステーションの取組を推進し、在宅医療体制の整備を進めます。

No.	提案・意見内容	回答	対応状況 反映状況	備考（前期基本計画内反映箇所など）
36	学校が生き残るために、特色ある学校づくりをお願いします。	<p>教育環境適正化検討の結果を踏まえ、地域の皆様と連携しながら、特色ある学校づくりを進めていきます。</p> <p>なお、子どもたちへの教育については、地域の文化・人材を活用し、地域ぐるみで子どもたちを育て、子どもたちの夢を膨らませることができるような島田独自の活動「夢育・地育事業」を実施し、島田の未来を担う子どもたちの夢を育む事業を実施していきます。</p>	◎	<p>施策の柱2-2-2 ・子供一人ひとりの「豊かな心」「確かな学力」「健康な体」を育むため、子供の夢を膨らませる活動や、地域資源を生かした教育を行います。</p> <p>施策の柱2-2-3 ・「島田市教育環境適正化検討委員会」を開催し、適正な教育環境を実現するための具体的な方策を検討していきます。</p>
37	子育て、教育環境が充実するまちづくりに力をいれてもらいたい。	<p>このまちで安心して結婚し、子どもを生み育てられる環境づくり、地域の将来を担う子どもたちのためになる教育環境を整えていきます。</p> <p>特に、子どもたちへの教育については、地域の文化・人材を活用し、地域ぐるみで子どもたちを育て、子どもたちの夢を膨らませることができるような島田独自の活動「夢育・地育事業」を実施し、島田の未来を担う子どもたちの夢を育む事業を実施していきます。</p>	◎	<p>政策分野2「子育て・教育環境が充実するまちづくり」の中で具体的な計画や取組を示しています。</p>
38	大井川の河川敷の公園化において、左岸側ばかり開発されているが、右岸の初倉側が置き去りにされているとしか思えない。	<p>蓬萊橋周辺の整備について、右岸側の整備時期はまだ決まっていません。現在、左岸側のお休み処、物産販売所、番小屋、トイレ整備、蓬萊橋ライトアップ等の整備を進めており、来年度以降、一段下のところに、駐車場や花壇、散策路、イベント広場を設置する計画です。</p> <p>その整備が完了後、大井川の右岸側の整備を進めていきたいと考えています。整備内容については、今後大井川ミズベリング協議会の中で検討していきます。</p>	◎	<p>施策の柱5-1-1 ・蓬萊橋周辺の施設や道水路整備とともに、右岸側の利活用についても検討を進めます。</p>
39	市役所の職員の方が出張するときに、お茶をもって行ってトップセールしてください。	<p>出張の際には、例えば、お茶を連想させる島田市緑茶化計画のロゴ、メッセージ、カラーの入った名刺等を活用し、お茶のまちをPRしているほか、市役所に県外の方が来庁した場合は、必ず市内産のリーフ茶を呈茶したおもてなしをしています。</p> <p>アンテナショップや様々なイベント等でのお茶の販売活動を増やし、当市の一番の魅力ともいえるお茶のすばらしさ、そして「日本一のお茶のまち 島田」を多くの人に伝える機会を創出していきます。</p>	◎	<p>施策の柱5-2-2 ・アンテナショップや様々なイベント等を通じて、当市の一番の魅力ともいえるお茶のすばらしさ、そして「日本一のお茶のまち 島田」を、多くの人に伝える機会を創出します。</p>
40	中心地の開発には大賛成ですが、駐車場の確保を考えて開発してください。	<p>駅周辺には民間の駐車場が多くあるため、無料駐車場の整備は目的外使用（無断駐車）等も懸念されることから難しいと考えます。今後、市で開発等を行う場合においては、駐車場も考慮した検討を進めていきます。</p>	×	

No.	提案・意見内容	回答	対応状況 反映状況	備考（前期基本計画内反映箇所など）
41	補助金事業によって青地が簡単には白地に変更できませんが、時代も変わったので、法律も変えてもらいたい。湯日地区に住みたい人たちがいるが、現在の状況では住宅を増やすことができない。	<p>農振法及び農地法により、ほ場整備等で農業投資が行われたり、広範囲に農地が保存されたりしているような一団の農地については、将来にわたって農業を続けていくべき農用地区域に指定しており、法の規定により白地への転換は難しくなっています。</p> <p>各自の意思により、自由に農地を転用できるようになれば、無秩序な土地利用が進み、農業が崩壊していくことから、国は法律を変える考えを持っていません。</p> <p>市としても、農地は、食料の安定供給、自給率の向上、景観保護や雨水の涵養などといった多面的な機能を持ち、社会的に不可欠なものであると考えています。</p> <p>個別の事由等の詳細については、市役所に御相談ください。</p>	×	
42	家族で食事に出かけるところ（ファミリーレストラン、回転寿司）などできてほしい。	<p>民間事業者の視点においては、初倉地区はポテンシャルの高い地域であり、これから様々な開発がされることを期待しています。</p>	×	
43	人口増加にむけ、企業の誘致に力を入れてもらいたい。	<p>市では現在、新東名島田金谷IC周辺地区への工業用地造成に最も力を入れています。当地域の優位性（強固な地盤、良質な地下水が豊富、交通結節点）を活かした産業を集積し、雇用増・税収増につながる企業の誘致を進めていきます。</p>	◎	<p>施策の柱3-2-2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊富な水資源や農林生産物等を活かし、6次産業など次世代の成長産業を見据えた企業誘致を進めます。 ・「内陸フロンティア推進区域」において、交通アクセスの優位性を活かした新たな工業用地と周辺基盤整備を進めます。
44	土地利用計画について、個人病院等の建設にあたっては農振除外を優先的に進めて欲しい。	<p>農振法及び農地法により、ほ場整備等で農業投資が行われたり、広範囲に農地が保存されたりしているような一団の農地については、将来にわたって農業を続けていくべき農用地区域に指定しており、法の規定により白地への転換は難しくなっています。</p> <p>各自の意思により、自由に農地を転用できるようになれば、無秩序な土地利用が進み、農業が崩壊していくことから、国は法律を変える考えを持っていません。</p> <p>ただし、地域における病院の必要性は理解できますので、除外が可能かどうかは、市役所に御相談ください。</p>	×	
45	吉田町に拡大する商業施設によって買い物客が流れている。島田市（初倉）地区への商業施設の誘致が必要。	<p>民間事業者の視点においては、初倉地区はポテンシャルの高い地域であり、これから様々な開発がされることを期待しています。</p>	×	
46	産業に力を入れて、若い世代がたくさん住まうようなまちづくりをお願いします。人口増加は厳しいですが、島田市は子育て支援が充実しています。この街に住みたい！島田市に住みたい！と、魅力ある島田市にいかになれるかが課題だと思います。	<p>取組の一つとして、ICTの活用などにより新たな雇用を創出し、若年世代から地元での就職やUターン先として選ばれるまちづくりと地域経済の持続的な発展を目指し、また、このまちで安心して結婚し、子どもを生み育てられる環境づくりを進めていきます。</p>	◎	<p>施策の柱3-1（施策の方向性）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICTの活用などにより新たな雇用を創出し、若年世代から地元での就職やUターン先として選ばれるまちづくりと地域経済の持続的な発展を目指します。 <p>施策の柱3-1-1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代への支援を充実させ、女性の就業率向上につなげていきます。

No.	提案・意見内容	回答	対応状況 反映状況	備考（前期基本計画内反映箇所など）
47	街の活性化のためにも、本通商店街を、店主を含めてプロジェクトにより人の集まる通りにすべき。計画の中に盛り込まれていないので、中央の活性化を急ぐべき。	官民連携のもと、おび通りや駅前緑地を活用した多彩なイベント等の開催をきっかけとして中心市街地ににぎわいを創出し、経済の波及効果を図っていきます。 また、現在、策定を進めている中心市街地活性化基本計画にて、地域の方の御意見を伺いながら、5年先の中心市街地のまちづくりを検討し、中心市街地の活性化を目指していきます。	◎	施策の柱3-3-1 ・官民連携のもと、おび通りや駅前緑地を活用した多彩なイベントを開催することで、中心市街地ににぎわいを創出し、経済の波及効果を図ります。 ・中心市街地の将来像を示した基本計画に基づく振興策を推進します。
48	初倉地区が通り過ぎる場としてでなく、立ち止まる場としての初倉地区のあり方を求めたい。	初倉地区は、住宅地が増え、それに伴い若い世代が増えてきています。また、民間事業者の視点から見るときにポテンシャルの高い地域であり、これから様々な開発がされることを期待しています。 「立ち止まる場所」など、まちづくりについて検討を進めていく際に、話し合いを地域の中で持っていただき、行政もそれに参加しながら初倉地域全体のこれからの考えています。	◎	施策の柱7-1-1（冒頭部） 子育て、防災、防犯、環境美化から、総合的な地域福祉の推進までのあらゆる分野において、市民の主体的な参画や、地域の学校、企業、様々な団体活動等のさらなる活性化を支援し、協働のまちづくりを進めます。
49	チャイルドシートの着用にかかる指導をお願いします。保育園の近くで仕事をしているため、お迎えの車を見ることがあります。最近若い世代の方が増えて子供の声が多く聞こえ好感が持てますが、お迎えの車の中にはチャイルドシートが未着用で乗車している子供を見かけます。子育てしやすい初倉を目指してほしいですし、そのためにもチャイルドシートを正しく理解して、ルールを守って使用するよう指導して欲しいです。（自転車のカゴに防犯ネットを付けている人が多い町は、防犯意識が高い町と見られ、犯罪が少ないと聞いたことがあります。チャイルドシートという子供を守る意志を表す車が多く見られることは、“子育てしやすい町”につながると思います。	チャイルドシートの啓発については、警察および関係団体と協力し、全ての幼稚園・保育園へチラシを配布しています。さらなる交通安全意識の向上のため、幼稚園・保育園で実施する交通安全教室の際にも着用指導の徹底を働きかけていきます。	◎	施策の柱4-4-4 ・関係団体と協力し、交通安全運動の推進と交通安全意識の向上を図ります。
50	リニアの問題で毎秒2トンという数字をもう少し分かりやすく表現はできないでしょうか。	家庭用のお風呂がだいたい200リットル弱なので、1秒に約10杯分の水が減少する計算になります。 なお、毎秒2トンという表現は、新聞報道等でも用いられているものですので、御了承いただきたいと思います。	×	
51	他市からのゴミの受け入れを促進し、ゴミ処理場の効率を図る。	家庭ごみ（一般廃棄物）は、排出された市町で処分することが原則となります。また、現在島田市では川根本町のごみを受け入れしていますが、その他の近隣市のごみすべてを受け入れる程の余力はありません。	×	
52	川越遺跡は今まで行ったことがなかったのですが、最近所用で行くことができました。風情があって良いと思った中、私は島田を知らないなぁと感じました。このタウンミーティングをきっかけに、もう少し島田のことに興味をもっていきたいと思います。	川越遺跡については、整備基本計画を平成29年度、平成30年度の2か年をかけて策定し、その後、川会所の移築等を予定しています。 また、さらなる交流人口拡大に向けて、水辺を活用した蓬莱橋周辺の整備と連携したイベント等の実施を予定しています。	—	
53	稼ぐ力を強化する点から、ふるさと納税のポイント制を止めて、納税全額を返礼品と結びつけて、一覧（金額別）にして、ふるさと納税をする方がインターネット検索で物品（返礼品）がヒット出来る様にする。具体的には、お茶で返礼品を検索しても島田市はヒットせず、掛川市、菊川市はヒットする。納税しようとする人の立場に立って展開すれば、返礼品は決して焼津市に負けていないと思う。「見える化」をお願いします。	島田市では、ふるさと納税のポイント制は採用していません。今後、「島田市」で検索していただけるようシティプロモーション等でまちの魅力度を上げていきたいと考えています。	○	施策の柱5-2-1 ・ふるさと寄附金制度を通じて地場産品など島田の魅力を全国にPRし、地場産業や観光を盛り上げます。

No.	提案・意見内容	回答	対応状況 反映状況	備考（前期基本計画内反映箇所など）
54	学校や公会堂に加え、地区の集会所が地域の人たちの交流の場となるような支援策をお願いしたい。	初倉西部ふれあいセンターについては、適正かつ効率的な管理運営により、多くの利用者に安全、安心、かつ快適に利用してもらえよう努めています。今後、拠点としての機能を強化するための検討を進めていきます。	◎	施策の柱2-4-1 ・地域の人が集い、つながりを深め、課題を話し合う場としての公民館機能を整備、充実し、学習のきっかけづくりとしての魅力ある講座を開催します。
55	初倉地区の事業計画において、既存設備の改修、老朽化の修復、道路の改修など、行政として実施して当然な計画が多く、目新しいものが無いように思える。また、企業立地（誘致）を掲げているが、市としては税収が増えるかもしれないが、住んでいる住民にとって、交通量が増えるなど、環境が悪くなり、決して喜ばしいこととは思えない。	全国的に高度成長期に整備された道路、河川などの社会資本の老朽化が同時に進行し、「造る」から「守る」の考えに転換しています。企業誘致については、地元住民の皆様の意向を尊重しながら、周辺環境に充分配慮して検討していきたいと考えています。	○	施策の柱3-2-2 ・周辺環境に配慮した中で、豊富な水資源や農林生産物等を活かし、6次産業など次世代の成長産業を見据えた企業誘致を進めます。 ※下線部を追加しました。
56	生活道路の整備はすぐにも着手して欲しいです。数年前からしをお願いを出しております。ぜひ早く着手してください。また、それに伴い、街灯の整備をお願いします。（消防署北の住居が多くあるあたり）	市全体の道路整備状況、国からの補助金の内示状況を見ながら、計画的に進めていきたいと考えています。防犯灯については、設置する自治会または町内会に対し助成しています。	◎	施策の柱6-1-1 ・地元要望等を踏まえ、生活に身近な道路の側溝改修、舗装修繕、道路拡幅等を計画的に進めます。 施策の柱4-4-2 ・防犯灯を設置する自治会または町内会に対し助成し、防犯環境の整備を進め、夜間における歩行者の安全確保に努めます。
57	事業や、土地利用について、提案を市に示しても最終的な返事は「お金がない」という答え。資料の最後にある土地利用の方向性についても、かなり財政的に厳しい見積もりとなることが予想されます。言葉遊びではないので、現実的に可能な内容のことを総合計画として欲しい。初倉地区で示したものだけでも大きな財政規模になると思われるため、川根から金谷全地域を考えたら相当厳しいと思われま。	具体的な事業計画（年度計画）について、総合計画の3層目にあたる来年9月策定予定の実施計画で示していきます。その中で、財政計画と整合をとり、事業の優先順位を明確にしていきます。	—	
58	土地利用の基本的な考え方の5つの事項については、大変良いと思います。最近のテレビ番組を見ていると、「自然と共生」「地域の魅力や個性を活かす土地利用」に関わるような地域がよく放映され、心の癒しにつながっています。島田もふる里島田ということで、そうした点を活かしてもらえたらと思います。古民家再生などにも市で力を入れていただけると良いかもしれません。	島田市の豊かな自然環境や価値ある歴史資産など、美しい景観を今を生きる私たちが責任を持って、後世に残していかなくてはなりません。地域ごとの良好な景観の形成、保全を図るとともに、景観計画に基づき新たな重点地区を指定していきます。また、住みよい生活環境を確保するため、特定空き家の発生を抑制し、古民家も含む中古住宅の流通を促進させるため、中古住宅購入補助制度をはじめました。	◎	施策の柱4-4-1 ・住みよい生活環境を確保するため、特定空き家の発生を抑制し一般の空き家の流通を促進します。 施策の柱6-3-2（冒頭部） 豊かな自然環境や価値ある歴史資産など、当市のもつ美しい景観を後世に残していく必要があります。地域ごとの良好な景観の形成・保全を図るとともに、景観計画に基づいた重点地区の指定を行っていきます。
59	土地利用のなかで、長期的計画（確率的）における農地、商工業地の区割りを早期に明確化して欲しい。	今年度策定する国土利用計画島田市計画における土地利用構想図で、目指す商工業地（宅地）の区域を示させていただいていますが、農地から宅地への転換にあたっては、農業的な制約等がありますので、地域の皆様との協力のもと進めていきたいと考えています。	×	

No.	提案・意見内容	回答	対応状況 反映状況	備考（前期基本計画内反映箇所など）
60	新東名島田金谷ICとお茶の郷、旧金中跡地と空港と、東名吉田ICを結ぶ道路を計画的に建設して欲しい。（金谷から初倉湯日、谷口、井口を通るバイパスを造る）金谷、空港、お茶の郷、吉田ICをスムーズな交通の流れをつくることで、一日を過ごせる島田市の将来が見えてくる。	国道1号の4車線化、菊川ICのフルインター化、金谷御前崎連絡道路の菊川ICへの接続、国道473号新東名島田金谷ICから国道1号大代IC間の4車線化など、国や県の働きかけにより、交通ネットワークの充実を図ります。 初倉地域の整備については、色尾大柳線や谷口中河線、空港アクセス道路となる県道吉田大東線（市道中河南原線）を優先しています。	◎	施策の柱6-2（施策の方向性） 国道1号の4車線化、菊川インターチェンジのフルインター化、国道473号金谷御前崎連絡道路の菊川ICへの接続、国道473号新東名島田金谷インターチェンジから国道1号大代インターチェンジ間の4車線化、空港アクセス道路県道吉田大東線の改良など、国・県による大規模な主要幹線道路の整備が進められています。当市においては、これらを補完する幹線道路網の計画的な整備により、陸・海・空が結節し、地域間の活発な交流を促進する交通ネットワークを構築します。
61	吉田IC～旧金中跡地～賑わい交流拠点へのアクセス中環道（鎌塚線）の整備をお願いしたい。	初倉地域の整備については、色尾大柳線や谷口中河線、空港アクセス道路となる県道吉田大東線（市道中河南原線）を優先しています。	◎	施策の柱6-2-1 - 策定された道路整備プログラムにより、優先度に応じた幹線道路整備を推進します。
62	みどり幼稚園跡地の利用方法について、体力づくりができる場、図書館、公園、資料館などで利用したらどうか。	みどり幼稚園跡地については、接道（県道島田吉田線）に接しておらず裏側道路からの利用になるほか、地盤が良い状況とはいえないこと、さらに、面積が約4,200㎡であることで、駐車場を考慮した公共施設整備が適当ではないと考えているところです。 よって、しばらくは地域の駐車場等で利用し、地域の意見等を探りながら跡地利用について検討していきたいと考えています。	×	
63	地区別土地利用の方向の中に「みどり幼稚園」跡地の利活用について触れていないが、初倉の中央にある土地なので、早めに決めてもらいたい。	みどり幼稚園跡地については、接道（県道島田吉田線）に接しておらず裏側道路からの利用になるほか、地盤が良い状況とはいえないこと、さらに、面積が約4,200㎡であることで、駐車場を考慮した公共施設整備が適当ではないと考えているところです。 よって、しばらくは地域の駐車場等で利用し、地域の意見等を探りながら跡地利用について検討していきたいと考えています。	×	
64	公民館、公園、包括支援センター等を地区ごとにまとめる。人の集まりが生活と密着するような集約型が必要だと思います。大型施設は不活性な状況となり、不便、不採算になると思います。	人口減少や社会経済情勢を踏まえ、広大な市域を持つ島田市の未来を描くまちづくりの方向性として、各地域の拠点に機能を集約し、「コンパクト」＋「ネットワーク」を目指していきます。	◎	施策の柱6-3-1（冒頭部） 静岡県が実施する都市計画基礎調査を基に、将来にわたって都市機能を維持していくため、メリハリのある都市構造の実現に向けた都市マスタープランの見直しを行い、集約型都市（コンパクトシティ）の実現を目指します。

※総合計画前期基本計画本文については、現在熟度を高める作業を行っているため、言い回しや表現方法など、変更される可能性があります。